

令和7年度 学校評価集計結果

松山市立椿小学校

【総合判定】

A：肯定率の平均が90%以上
B：肯定率の平均が60%以上90%未満
C：肯定率の平均が60%未満

※ 肯定率→評定(%)の評
定4と評定3の合計値

【評定】

4：あてはまる
3：だいたいあてはまる
2：あまりあてはまらない
1：あてはまらない

番号	対象	設問	総合 判定	肯定率	評定 (%)				評定 平均	○成果 ◆改善策
					4	3	2	1		
1	保護者	子どもは学校に行くのを楽しみにしている	A	87%	34%	52%	11%	2%	3.2	○分かるできる授業づくり、様々な交流活動の設定、何より、自分の居場所を感じさせることができている成果と考える。 ◆引き続きアンテナを高く張り、子どものふとした変化を見逃さないように努める。
	教職員	子どもは学校に行くのを楽しみにしている		99%	25%	74%	1%	0%	3.2	
	児童	学校は楽しい		95%	65%	30%	4%	1%	3.6	
2	保護者	子どもは学級に仲のよい友達がいる	A	96%	62%	33%	4%	1%	3.6	○肯定的な回答が多く、概ね良好な友達関係を築くことができていると思われる。日頃の見取りや定期的な教育相談の成果と考える。 ◆一人の児童も見逃すことがないように、生活アンケートの方法や情報共有の方法を精査する。
	教職員	子どもは学級に仲のよい友達がいる		100%	26%	74%	0%	0%	3.3	
	児童	学級に仲のよい友達がいる		98%	90%	8%	2%	0%	3.9	
3	保護者	子どもは挨拶がよくできている	B	75%	19%	57%	22%	2%	2.9	○教職員と児童の評価は、昨年度に比べて若干だが好転している。地域から子どもの挨拶に関するよい意見を聞くことも増えた。日々の積み重ねの成果と考える。 ◆できたことを褒め、根気強く指導を続けていく。
	教職員	子どもは挨拶がよくできている		70%	6%	64%	30%	0%	2.8	
	児童	挨拶がよくできている		85%	38%	47%	12%	3%	3.2	
4	保護者	学校は一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている	A	94%	28%	66%	6%	1%	3.2	○ほとんどの教職員が日々の授業改善に取り組んでおり、9割以上の保護者が授業を肯定的に評価している。その成果が児童の理解度にも表れている。 ◆教師の自己評価と児童の理解度には若干のずれがある。一人一人の課題を把握し、今後も毎時間のねらいが達成できるような授業づくりに励んでいく。
	教職員	学校は一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている		100%	20%	80%	0%	0%	3.2	
	児童	授業の内容はよくわかる		92%	48%	44%	6%	2%	3.4	
5	保護者	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かして授業改善に取り組んでいる	A	95%	34%	61%	4%	1%	3.3	○アナログとデジタルのよさを生かした授業改善が進み、保護者・教職員双方から高い評価を得て、学校全体で共通理解のある指導が行われている。 ◆学習のねらいに応じた活用の工夫をさらに進め、子ども一人一人の学びの深まりがより実感できる授業づくりに取り組んでいく。
	教職員	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かして授業改善に取り組んでいる		100%	34%	66%	0%	0%	3.3	
	児童									
6	保護者	学校は、児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている	A	94%	28%	66%	5%	1%	3.2	○新体力テストの結果を参考に児童の実態を把握し、授業の中で改善できるように指導の工夫をしている。 ◆外遊びを好む児童とそうでない児童の差が年々大きくなっているように感じる。クラス遊び等を活用しながら外遊びの習慣化を図りたい。
	教職員	学校は、児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている		100%	34%	66%	0%	0%	3.3	
	児童	業間や昼休みは元氣よく遊んでいる		80%	55%	25%	15%	6%	3.3	
7	保護者	学校は、地域に根差した教育を行い、郷土を大切に思う児童の育成に取り組んでいる	A	96%	36%	60%	3%	1%	3.3	○日々の学習で、学年に応じて地域人材を活用した学習内容を設定したり、PTAと連携した活動の成果が伝わってきていると考える。 ◆引き続き、地域との関わりを重視した教育課程の精査に努め、地域のよさを児童に伝えていく。
	教職員	学校は、地域に根差した教育を行い、郷土を大切に思う児童の育成に取り組んでいる		100%	32%	68%	0%	0%	3.3	
	児童									
8	保護者	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている	A	92%	27%	65%	5%	2%	3.2	○両者共に高い評価であり、学校教育全体で人権・同和教育の指導や普及ができている。 ◆今年度は人権の視点に立った公開授業となかよし集会を実施した。一部の児童や教職員への負担が大きく、事前の計画からもっと役割を細分化し、負担が偏らないようにする必要がある。
	教職員	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている		100%	60%	40%	0%	0%	3.6	
	児童									
9	保護者	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている	A	92%	31%	60%	7%	2%	3.2	○「校内生活のきまり」を繰り返し指導することで、児童はきまりやマナーを意識して学校生活を送ることができている。 ◆保護者の肯定率がやや低い傾向にある。今後は保護者へどのように啓発していくかが課題である。
	教職員	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている		98%	54%	44%	2%	0%	3.5	
	児童	学校のきまりやマナーを守って生活している		95%	61%	34%	5%	1%	3.6	
10	保護者	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている	A	89%	24%	65%	9%	2%	3.1	○5、6年生では、総合的な学習の時間でキャリア領域の単元を設定し、系統立てて学習を行うことで、将来の夢や生き方について考える場を保障している。 ◆全ての学年でのキャリア教育の視点を学校だよりや学年だよりで周知すると理解が深まるのではないかと考える。
	教職員	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている		98%	24%	74%	2%	0%	3.2	
	児童									
11	保護者	学校は、児童に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている	A	95%	39%	56%	4%	1%	3.3	○児童の交通安全やけが等の防止について、適切な指導ができていると推察される評価である。 ◆引き続き地域の方々や関係機関と協力し、自転車の乗り方、歩き方などを中心に、児童の安全の確保に努めていく。
	教職員	学校は、児童に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている		100%	54%	46%	0%	0%	3.5	
	児童	交通ルール（自転車・歩き方など）を守り安全に生活している		95%	61%	34%	5%	1%	3.6	
12	保護者	学校は、個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている	A	97%	39%	58%	2%	1%	3.4	○児童が健康に過ごせるよう、日々の健康状態や欠状状況について、学校と家庭が協力・連携しており、両者ともに肯定的に評価している。 ◆今後も家庭と協力しながら、児童が自らの健康に関心を持ち、生活習慣を整えられるように指導を続けたい。
	教職員	学校は、個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている		100%	56%	44%	0%	0%	3.6	
	児童									
13	保護者	学校は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている	A	98%	36%	61%	2%	0%	3.3	○石けんを使用した手洗いを行ったり、冷暖房使用時にも適切に換気を行ったりするなど、日常的な感染症対策ができている。 ◆日々の感染症対策を習慣化させるとともに、感染症流行時には適切に情報発信をしていきたい。
	教職員	学校は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている		98%	58%	40%	2%	0%	3.6	
	児童									

【総合判定】

A：肯定率の平均が90%以上
B：肯定率の平均が60%以上90%未満
C：肯定率の平均が60%未満

※ 肯定率→評定(%)の評
定4と評定3の合計値

【評定】

4：あてはまる
3：だいたいあてはまる
2：あまりあてはまらない
1：あてはまらない

番号	対象	設問	総合 判定	肯定率	評定 (%)				評定 平均	○成果 ◆改善策
					4	3	2	1		
14	保護者	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている	A	93%	33%	59%	5%	2%	3.2	○児童の困りごとに関する学校の対応が適切になされている状況を保護者も好意的に捉えており、双方の信頼関係が構築できているように感じる。 ◆初期対応の重要性を理解し、児童の困り感到傾聴する教師の態度を大切にしていきたい。
	教職員	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている		100%	44%	56%	0%	0%	3.4	
	児童									
15	保護者	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている	A	95%	38%	58%	3%	2%	3.3	○保護者・教職員とも肯定的な回答が多い。各教職員の強みを生かした連携や、情報共有の充実の成果であると考え。 ◆教職員の多さを生かした連携、個々のスキルアップを図っていくための研修について検討する。
	教職員	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている		98%	42%	56%	0%	2%	3.4	
	児童									
16	保護者	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる	A	90%	29%	61%	6%	3%	3.2	○よりよい授業づくりのために、低・中・高学年部会で研究授業を進めたり、学年部で話し合う時間を確保したりして研修を深めた。 ◆今後も個人や学年部、校内で研修を深め、情報共有をしながら児童一人一人が分かる授業づくりに取り組み、保護者にも発信していきたい。
	教職員	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる		100%	32%	68%	0%	0%	3.3	
	児童									
17	保護者	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している	A	97%	33%	64%	3%	0%	3.3	○PTA事務を通じたPTAとの連携やおやじの会との連携体制が確立しており、そのよさが保護者教職員共に浸透していると考え。 ◆それぞれの立場を考慮し、強みを生かしていくために、協議を重ねながら連携を深めていく。
	教職員	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している		98%	38%	60%	2%	0%	3.4	
	児童									
18	保護者	学校は、学校・学年だよりやホームページ、メール等により、積極的に情報を発信している	A	98%	57%	41%	1%	0%	3.6	○学校からの情報発信が適切に行われ、学校と家庭との情報共有がなされている。 ◆引き続き、学校は保護者のニーズに応える情報の発信に努めるとともに、全教職員がそれぞれの視点で情報を発信する必要がある。
	教職員	学校は、学校・学年だよりやホームページ、メール等により、積極的に情報を発信している		100%	66%	34%	0%	0%	3.7	
	児童									
19	保護者	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている	A	98%	35%	63%	2%	0%	3.3	○日々の授業の中での言語活動を大切にした実践に加え、PTA活動による読み聞かせや地域と連携した俳句活動を継続してきた。家庭や地域との協力が言語活動の充実につながっている。 ◆今後も家庭や地域との連携を図り、言語活動や展掲示の充実に向けていく。
	教職員	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている		100%	22%	78%	0%	0%	3.2	
	児童									
20	保護者	学校は、幼・小・中のスムーズな適応を図るために、関係園・校で連携し、児童の学校生活における不安感の軽減を図っている	A	95%	36%	59%	4%	2%	3.3	○連絡協議会での引継ぎや、「架け橋プログラム」の見直しを行うなどして、一人一人の実態に応じた対応ができた。 ◆小・中に関しては、3月の引継ぎ会以外にも連携がとれるとよい。
	教職員	学校は、幼・小・中のスムーズな適応を図るために、関係園・校で連携し、児童の学校生活における不安感の軽減を図っている		94%	30%	64%	6%	0%	3.2	
	児童									
21	保護者	学校は、関係園・校で連携し、児童への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている	A	93%	31%	62%	5%	1%	3.2	○関係園・校の様子を参観することで、系統性を重視した学習指導に生かすことができた。 ◆積極的に関係園・校に出向く機会を増やし、それぞれの学習の様子等を学び、学習指導に生かしていく。
	教職員	学校は、関係園・校で連携し、児童への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている		96%	24%	72%	4%	0%	3.2	
	児童									
22	保護者	学校行事（参観日や運動会等）は適切に行われている	A	98%	60%	38%	1%	0%	3.6	○保護者・教職員からの意見を参考にしたり、PTA役員と連携したりしながら計画・実践したことにより、一定の評価を得ることができた。 ◆学校行事のねらいを達成することができるよう、引き続き改善に努めていく。
	教職員	学校行事（参観日や運動会等）は適切に行われている		100%	76%	24%	0%	0%	3.8	
	児童									